			路を除く。）（前頁より続き：次側が電気的に分離され、二次側の一方が接地され、他方にヒューズが設けられており、電圧が直流六十ボルト又は交流二十五ボルト以下である回路を除く。）		のにあっては〇・二メガオーム、百五十ボルト以下のものにあっては〇・一メガオーム以上の絶縁抵抗がないこと。
(九)		接地	接地の状況	触診により確認する。	接地線が接地端子に緊結されていないこと。
(十)	階床選択機		表示灯の点灯の状況	目視により確認する。	表示灯が点灯すべき時に点灯しないこと。
			呼びの応答の状況	昇降機を運転し、呼びの応答を確認する。	呼びの応答がないこと又は呼びを保持若しくは消去しないこと。
(十一)	巻上機	減速歯車	潤滑油の油量の状況	オイルゲージ等を目視により確認する。	油量が適量でないこと。
			潤滑油の劣化の状況	色及び不純物を目視により確認する。	著しい変色又は摩耗粉があること。
			歯の状況（ウォーム・ホイール式のものに限る。）	異常音及び異常な振動がないか確認し、異常音又は異常な振動が認められる場合にあっては、歯の段差及び欠損について目視により確認し又は測定する。	イ　歯厚が設置時の八分の七未満であること又は運行に支障が生ずるおそれがある歯の欠損があること。 ロ　異常音又は異常な振動があること。
(十二)		綱車又は巻胴	綱車と主索のかかりの状況（巻胴式のものを除く。）	溝の摩耗の状況を目視により確認し又は溝と主索のすき間を測定し、主索と綱車が滑らないことを確認する。	溝と主索のすき間が十分でなく運行に支障が生ずるおそれがあること、無積載のかごを低速で上昇させて最上階付近において停止させたときに主索と綱車に著しい滑りが生じていること又はU溝を除く溝で主索が底当たりしていること。
			回転の状況	振動を触診及び聴診により確認する。	回転時に異常音又は異常な振動があること。
			欠損及びき裂の状況	目視により確認する。	欠損又はき裂があること。

(十三)	軸受	発熱の状況	触診により確認する。	異常な発熱があること。
		音の状況	聴診により確認する。	異常音があること。
		振動の状況	触診及び聴診により確認する。	異常な振動があること。
(十四)	ブレーキ	油の付着の状況	目視により確認する。	ドラム又はディスクのパッドのしゅう動面に制動力又は保持力に影響を与えるおそれがある油の付着があること。
		取付けの状況	目視及び触診により確認する。	取付けが確実でないこと又は可動部の給油が不十分であること。
		制動力の状況	かごの無積載上昇時（巻胴式にあってはかごの無積載下降時）のブレーキの制動を確認する。	ブレーキが作動しないこと又はかごが停止しないこと。
		保持力の状況	次に掲げる方法のいずれかによる。 イ　ブレーキをかけた状態において、トルクレンチにより確認する。 ロ　ブレーキをかけた状態において、モーターにトルクをかけ確認する。 ハ　かごに荷重を加え、かごの位置を確認する。	平成十二年建設省告示第千四百二十九号（以下「制御器告示」という。）第一第一号の規定に適合しないこと。
		パッドの厚さの状況	パッドの厚さを測定し、前回の定期検査時又は定期点検時からのパッドの摩耗量を確認する。	イ　運行に支障が生じている又は次回の定期検査時若しくは定期点検時までにパッドが運行に支障が生ずる厚さとなるおそれがあるため、是正が必要な状態にあること。 ロ　パッドの厚さが運行に支障が生ずるおそれがない最小の厚さの一・二倍（電気制動式のものにあっては、一・一倍）以下であって、重点的な点検が必要な状態にあること。